

1 研究テーマ

「わかる・できる」学ぶ喜びを実感する授業の創造
～算数的活動と言語活動の充実を図りながら～

2 テーマ設定の理由

(1) 教育の今日的課題から

近年、子どもたちの学力や体力、規範意識など、学校教育を取り巻くさまざまな課題が指摘されて、学校教育は大きな変革の時を迎えている。国際的な学力調査に見られた我が国の児童生徒の学力の低下も言われ、とりわけ、基礎・基本の内容の確実な定着は学校が責任をもって成し遂げていくことが求められている。それをうけて、「確かな学力」をキーワードに、「できる」「わかる」授業が大きくクローズアップされている。

そこで、昨年度、確かな学力の獲得を図るのに、これまでの授業を改善していくことが重要課題だととらえ、本研究テーマを設定した。

本研究テーマでとりくむ2年次の本年度は、「算数的活動と言語活動の充実を図りながら」と設定した。それは、次の理由からである。

新学習指導要領は小学校では平成23年度から完全実施になっているが、算数は先行実施される。新算数の研究を急ぐ必要がある。とりわけ、新学習指導要領では、「算数的活動」とは、「知識・技能の活用の学習活動」とされ、各学年での具的内容が初めて示された。これから研究を進めていかなければならないものだからである。

さらに、新教育課程実施上の配慮事項の筆頭に児童の言語環境の整備と言語活動の充実が挙げられた。知識・技能を習得するのも、これらを活用し課題を解決するために思考し、判断し、表現するのもすべて言語によって行われるものであり、これらの学習活動の基盤となるのは、言語に関する能力である。

このようなことから、「算数的活動と言語活動の充実」に視点を当て、研究に取り組むことにした。

(2) 学校教育の目標から

本校は「人間尊重の精神を基盤におき、自ら学び自ら考え、強く・正しく・美しく生きぬく子どもを育成」をめざしている。

本研究テーマは「自ら学び自ら考える子どもの育成」をめざし、授業改善を図ることを研究の中心にしたものである。子どもに「わかる・できる」を実感させながら、確かな学力をつけていこうとするものであり、本校教育目標の具現化につながると考えた。

(3) 児童の実態から

昨年度、「基礎・基本の定着化をめざした楽しい算数」をサブテーマに研究に取り組んだ。その成果と課題として、「計算の領域はできるようになった。しかし、文章題になると極端にできなくなる」ということだった。子どもたちの読解力（算数的読解力・言語に関する力）の不足が考えられるということだった。

さらに、新指導要領には算数科における言語活動に「比較や分類、関連づけといった考えるための技

能、帰納的なえ方や演繹的な考え方等を活用して説明する」という例示があるが、その部分も本校児童の弱点となっている。

以上の理由により、本年度研究テーマ及びサブテーマを設定した。

3 テーマについての基本的な考え方

「わかる・できる」ということ	
【「わかる」とは】 ・計算の意味がわかる ・問題の意味がわかる ・解き方がわかる	【「できる」とは】 ・既習の計算ができる ・自分の力で問題を解くことができる ・自分の考えを説明できる
<p>「わかる」「できる」ことから子どもは「学ぶ喜び」を実感できるのだと考える。子どもたちに基礎的・基本的な知識及び技能の習得を保障し、「わかる」「できる」ことで、算数の時間が楽しくなるようにする。「わかる」「できる」ことは、表現力や思考力を高める基盤となるものである。</p>	

算数的活動					
算数的活動の3つの目的(指導要領から)			算数的活動の分類		
①基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付ける。			○具体物を用いて数量や図形についての意味を理解する活動		
②思考力, 判断力, 表現力等を高める。			○知識・技能を実際の場面で活用する活動		
③算数を学ぶことの楽しさや意義を実感する。			○問題解決の方法を考え説明する活動		
☆指導要領に具体的に示された「算数的活動」					
1年	2年	3年	4年	5年	6年
説明する					
図形をかく・作図する・形を作る					
数える 比べる 表す	見当をつける 見つける	表す 調べる	判断する 実測する 敷き詰める 調べる	活用する	問題を解決する 見つける 調べる
本年度は具体的な授業場面で、どのような算数的活動が「わかる」「できる」授業の創造に有効であるか実践研究を行う。					

「算数的活動」と「言語活動」の関連	
※指導要領における各学年の算数的活動の中で言語活動の充実が意識されている記述	
1年	計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして表す活動
2年	加法と減法の相互関係を図や式に表し、説明する活動
3年	整数, 小数及び分数についての計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動
4年	長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動

- 5年** ・小数についての計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動
- ・三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動
- 6年** 分数についての計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動

学習の中に説明や伝え合う活動を取り入れていくことで、言語に関する能力の育成を図っていく。しかし、授業の中で長い時間を費やす言語活動になってしまうことは、算数科における基礎的・基本的な知識や技能の習得の低下を招くことであり、本末転倒である。また、一部の児童だけの言語活動になってしまわないようにしたい。

4 研究の目標

どの子ども「わかりたい」「できるようになりたい」という願いをもっている。子ども全員が「わかる」「できる」ことをめざして授業改善を行い、どの子ども学ぶ喜びを実感できる授業の在り方を明らかにする。

5 研究の仮説

- (1) 効果的な算数的活動を授業に取り入れ、その活動を児童全員に保証することで、よくわかり、できる喜びを実感することで授業ができるだろう。
- (2) 短い時間に行われる言語活動を積み重ねることで、理解力や表現力が鍛えられ、よくわかり、できる喜びを実感することで授業ができるだろう。

6 研究の構想図

